

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
保 健	1	1	現代高等保健体育（大修館）	現代高等保健体育ノート（大修館）
到達目標 心身の機能、健康と環境、集団の生活における健康について理解を深めさせ、健康の保持増進をはかり、集団の健康を高めることに寄与する態度を養う。				

評価の観点	評価の内容
a 知識・技能	健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的基本的な事項を理解し、知識を身につけている。
b 思考・判断・表現	個人生活や社会生活における健康や安全に関する課題の解決を目指して、総合的に考え、選択すべき行動を適切に判断するなどの適切な意思決定や行動選択ができる。
c 主体的に学習に取り組む態度	個人生活や社会生活における健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践していくために、意欲的・積極的に学習に取り組もうとしている。
評価の方法 各定期考査、小テスト、ノート課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。	

年間指導計画											
前期						後期					
月	予定 時数	学習内容	評価の観点			月	予定 時数	学習内容	評価の観点		
			a	b	c				a	b	c
4	1	オリエンテーション 1 単元「現代社会と健康」			○	10	1	13 精神疾患の予防		○	
	1	1 健康の考え方と成り立ち	○				1	14 精神疾患からの回復	○		
5	1	2 私たちの健康のすがた			○	11	2	15 現代の感染症		○	
	1	3 生活習慣病の予防と回復		○			2	16 感染症の予防		○	
	1	4 がんの原因と予防	○				2	17 性感染症・エイズとその予防			○
6	1	5 がんの治療と回復			○	12	1	18 健康に関する意志決定・行動選択		○	
	1	6 運動と健康		○			1	19 健康に関する環境づくり			○
	1	7 食事と健康	○				1	2 単元 安全な社会生活	○		
7	1	8 休養・睡眠と健康		○		1	1	1 事故の現状と発生要因		○	
	2	9 喫煙と健康		○			1	2 安全な社会の形成		○	
	2	10 飲酒と健康		○			1	3 交通における安全			○
8	2	11 薬物乱用と健康	○				1	4 応急手当の意義とその基本		○	
	1	12 精神疾患の特徴			○	2	2	5 日常的な応急手当		○	
						3	2	6 心肺蘇生法	○		
9								※外部講師招聘 薬物乱用防止教室 心肺蘇生法 交通安全教室 性に対する講演会			
						計 3 5					

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項 教科書・ノートを忘れず、授業を受ける際のルールを守ること。 健康や安全について関心を持ち、意欲的・積極的に学習に取り組むこと。
